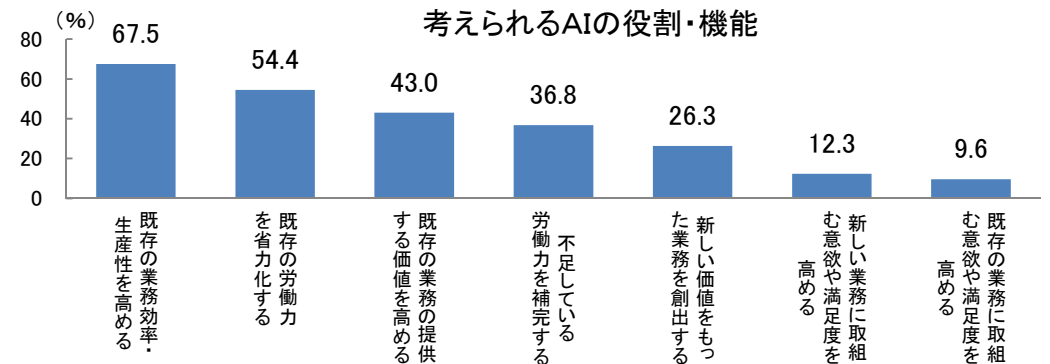
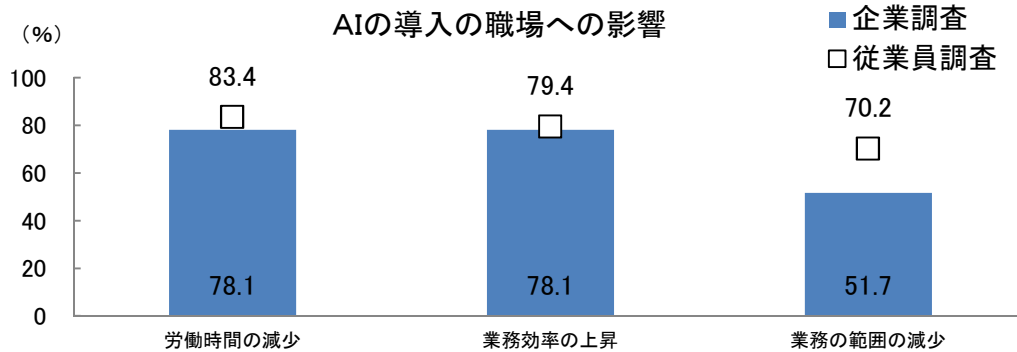
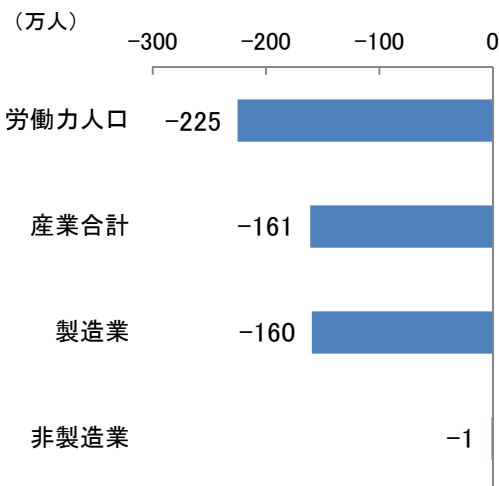


5. 厚生労働省「平成29年版労働経済の分析」(2017年9月公表)

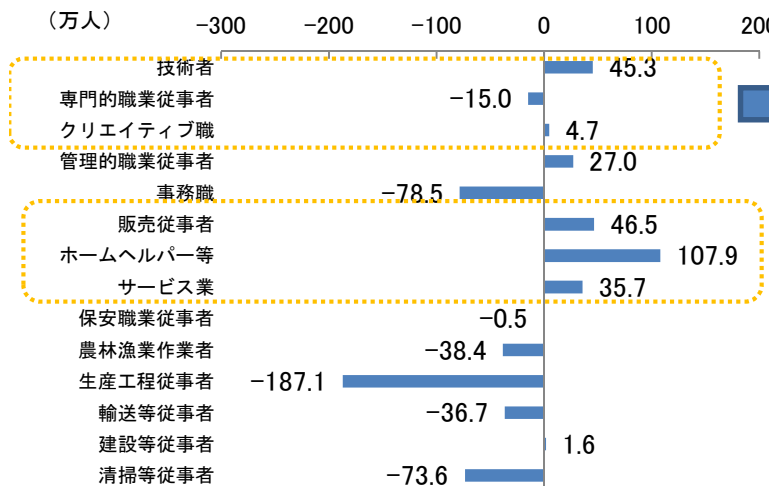
- AIが職場にもたらす影響として、労働時間の短縮や業務の効率化による労働生産性の向上が期待される一方で、新しい付加価値の創出のために活用する企業は少ない。
- 今後、AIの進展等により雇用の在り方が変わることが予想されるが、技術が必要な職種や人間的な付加価値を求められる職種の就業者は増加する。



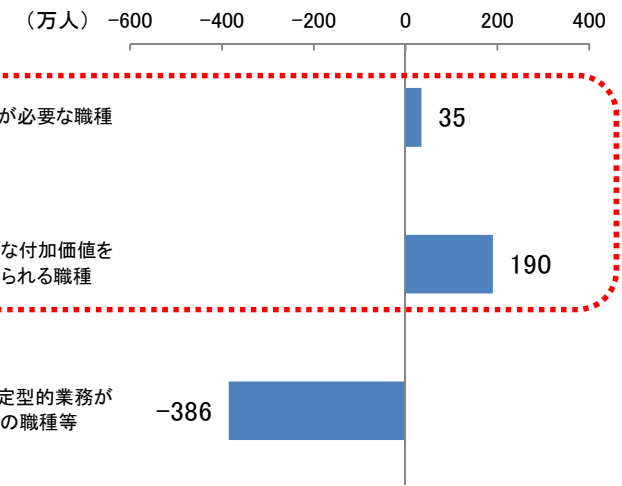
労働力人口・就業者数の変化



職種別にみた就業者数の変化



スキル別にみた就業者数の変化



資料出所 経済産業省 (2016) 「新産業構造ビジョン～第4次産業革命をリードする日本の戦略～中間整理」(下図)、(独)労働政策研究・研修機構 (2016) 「労働力需給の推計—新たな全国推計 (2015年版) を踏まえた都道府県別試算—」(下図) 「イノベーションへの対応状況調査」(2017年) (左上図・右上図) 「イノベーションの対応に向けた働き方のあり方等に関する調査」(2017年) (左上図) より作成

(注) 左上図の従業員調査は正社員に対する調査を指す。